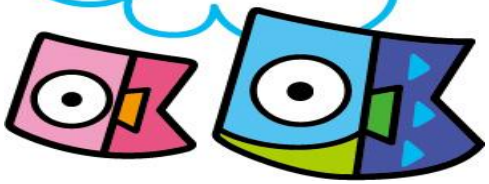
保護者の皆様
御協力ありがとう
ございました



子育てのヒント

子育て エピソード集

家庭編パート1

子どもの素朴な疑問や心温まる言葉、大人のハッとした言葉など、いろいろな実例が寄せられたものです。

生活編

生活①

どうして早く寝るの！

ある日の夜のこと。

「〇〇ちゃん、もう寝ましょう！」

「どうして早く寝るの？」

「明日、幼稚園で元気いっぱい遊ぶために、早く寝るんだよ！」

「そうなんだ。」

「また明日も、いっぱい遊ぼうね！」

きちんと話をすることで、子どもは理解してくれたようです。

生活②

子どもの口癖

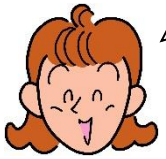
子育ては初めてであり、相談できる友達もいなかった頃です。
毎日子どものことでイライラしていたせいか、いつも言葉にするのが、

「まったくも～　はやくしなさい！」

そんな毎日を過ごしていたところ、子どもの口癖が、

「まったくも～」

何気なく使っていた言葉が、子どもの口癖になっていたことにハッとしました。



生活③

気持ちのいい朝

いつになく子どもが自分で登園の準備をしたある朝のこと。

「今日はいつもより気持ちのいい朝だね！」

「そうだね。朝が気持ちよくスタートできると、いい一日が過ごせるよ！」

いつも「早くしなさい」と子どもを急がせていたのですが・・・。

子どもと共に気持ちのいい朝を迎えられるようにしたいですね。

生活④

ごちそうさまでした！

食後には、いつも後片付けの手伝いを頼んでいました。

「じゃあ、運ぶの手伝ってくれるかな？」
「え～、なんで～！」

返事はいつも同じでした。ある時、こんな話をしてみました。

「ごちそうさまをして運ぶということは、食事をつくってくれた人に対しての気持ちなんだよ！」
「ごちそうさまをしてすぐ運ぶと、つくった人に対して“とてもおいしかったよ！またつくってね！”という気持ち。運ばないということは“おいしくなかった！もうつくらなくていいからね！”という気持ちだよ。」

それからは、食後すぐに後片付けをしてくれるようになりました。

生活⑤

どうして片付けるの？

おもちゃを片付けるように声をかけたときのこと。

「片付けしようよ！」

「私が出したものじゃないもん！」

「そうかもしれないけど、お姉ちゃんが出したおもちゃや本を（妹が）片付けてくれたときもあるよ。」

「そうか～！」

子どもは納得したようで、片付けを頑張ってやるようになりました。

他者との関係編

こっちにおいで！

ある晩、具合が悪くて私が先に寝ていた時のこと。

寝られずにうろうろしていた弟に、

「僕とママの間においで！」

「布団の中に入らないと、かぜひいちゃうよ！」

弟はその声に安心して、布団の中に入りました。

ずいぶん成長したなあ～と、
とてもうれしくなりました。

他者との関係②

同じ気持ち？

ある朝、お母さんと離れたくなくて泣いているＡちゃんをみて、

「どうしたの？」「だいじょぶだよ！」
「一緒にお部屋に行こう！」

自分から声をかけている姿を見て、ジーンときました。
それからしばらくしたある朝のこと。

「ママと離れたくない！」（泣き出す）

「どうしたの？」（しばらく様子を見る）

「Ａちゃんも同じ気持ちだった？」

「そうだったと思うよ！」

あの時のＡちゃんの姿を思い出したようです。
今では元気いっぱいに登園できるようになりました。

友達の気持ちも考えられるようになったことにわが子の成長を感じまし

他者との関係③

いっしょがいいよ！

ある日の夕方のこと。

「夕飯をつくるから一人で遊んでて！」

「みんなで手伝ったらおいしいご飯ができるよ！」

いつも忙しくて自分で支度をしたいと思っていますが、子どもは時間とか関係なく手伝いたいと思っているようです。

幼稚園のお友だちにも話していたことは・・・。

「みんなで遊んだら楽しいよ！」

子どもの言葉にびっくりしました。

他者との関係④

僕　ばっかり！

下の子が産まれてから、今まで経験のなかった我慢ができず、

「なんで、僕　ばっかり！」

この言葉が口癖のようになってしまいましたが、よく考えると私自身が上の子ばかりを怒っていたことに気づきました。
その後、二人の話を十分聞くようにして、

「今は、〇〇ちゃん（弟）が悪かったね！」

一方的に判断をしないようにしてから、その口癖がなくなりました。この頃から順番ということも教えるようにしました。

今は、貸してあげる、貸してもらうということをできるように心がけています。

他者との関係⑤

仲直り

自分の心理状態で、子どものちょっとした失敗でも怒ってしまうことがあります。
そういう時は、私の気持ちが落ち着いてから、

「さっきはごめんね！」

子どもにきちんと謝るようにしています。

毎日がその繰り返しですが・・・。

子育てというより、親の方が子どもに成長させてもらっているのだなと感じます。

興味・関心編

興味・関心①

虹にのぼりたい！

「お母さん、虹にのぼりたいのに見つからない！」

「え～！？」「そうね、どうしてだろうね。」

アニメや絵本では虹に登っている様子が描かれているので、本当にできると信じているようです。

図鑑などを見せながら

「虹はこういうふうにできるんだよ。」

「だから、近づくと見えなくなるんだよ。」

１時間ぐらい話し続けた結果、

「それじゃ、“小さい固い虹”をつくればいいんだよね！」

興味・関心②

何でできてるの？

子どもからよく聞かれる言葉があります。
ある日のことでした。

「テーブルは何でできてるの？」
「木だよ！人がつくったんだよ。」
「じょうずだね！」
「一生懸命つくってくれたんだよね！
大事に使おうね！」

改めて物の大切さに気づかされることがあります。

興味・関心③

何で食べるの？

家族で食事をしている時のこと。
野菜や魚・肉などを使った献立を見て、

「何でいろいろなものを食べた方がいいの？」

「いろいろなものを食べると体が強くなるんだよ！」

今でもできるだけ何でも食べるように頑張っています。